

令和3年度 第3回 学校運営協議会議事録

校名	府立むらの高等支援学校
校長名	森本 裕

開催日時	令和4年1月28日（金）
開催場所	書面開催
出席者（委員）	（会長）荒木 寛巳 （副会長）大森 千枝 （委員）石神 彰人 上国料 洋子 三瀬 吉彦 吉坂 久美子 ※順不同、敬称略
出席者（学校） ※回覧	（校長）森本 裕 【事務局】（教頭）向山 和子 （事務長）清水 幸雄 吉田 聖名子 速水 彬裕 重松 亮 山口朋之 石森 由紀子 岩里 哲朗 藤川 泰生
傍聴者	
協議資料	令和4年度 学校経営計画「めざす学校像」及び「中期的目標」について
備考	後日、議事録を学校ホームページで公開

議題等（次第順）
1) 報告 ・「学校教育自己診断」の結果について 資料番号② ・授業参観アンケート集計結果報告 資料番号③④ ・「令和3年度 学校経営計画」（評価案）について 資料⑤ 2) 協議 令和4年度 学校経営計画「めざす学校像」及び「中期的目標」について 資料番号⑥
協議内容（質問・意見の概要）
【委員による意見】 <「学校教育自己診断」の結果について> ・生徒の回答は、気持ちが素直に結果に表れている。特に進路に関する項目の回答で、3年生の否定的回答の率が他学年より高く、卒業後の不安が表れている。丁寧な個別面談等の対応が大切になる。 ・「学校へ行くのが楽しい」「相談が出来る先生がいる」「指導計画の目標を知っている」「指導が理解できる」の項目が前年度比較でポイントを下げている。特定生徒への目配りが必要ではないか。 ・進路の不安を抱えている生徒の割合が多く、どのように対応されているのか気になった。 →（進路指導部長回答）今回の3年生の進路の不安に関しては、社会に出た時のイメージがないからと考えている。そこで今年度より就労をしている卒業生とその会社の担当者による生徒向け学習会を行い卒業後のイメージを作れるようにした。次年度は、開催時期を考える必要がある。 ・否定的な回答は少数だが、その原因を分析・追求していくことが大事。 ・コロナ禍で学校生活にも制限が多いが、開催できた行事を通じて生徒の成長が見られ、行事の大切さにも気付かされた。 <「授業参観アンケートの集計結果報告」について> ・保護者は授業参観を通じて子どもたちの成長を目の当たりにすることで喜びを感じていると思う。先生方の一人ひとりへの寄り添いと個に応じた指導の成果が表れている。 ・保護者は好意的に学校の取り組みを理解している。 ・家庭では見えない子どもの成長を喜ばれていることが感じられる。 ・家庭で見られない顔を見ることができたとの意見があり、改めて授業参観の重要性を感じた。

＜「令和3年度 学校経営計画」（評価案）について＞

- ・「達成感を味わうことができる活動がある」の項目について、コロナ禍の中でも生徒の肯定的回答が91%と高く、先生方が積極的に生徒に関わられている証であり、高く評価する。
- ・コロナ禍で実施できない項目がありながら、苦労の上、工夫されている様子がわかる。
- ・コロナ禍でも最大限にできる項目を着実に目標達成に向けて努力されていることがわかる。
- ・教職員の心身の健康維持、同僚性の高い職場づくりにおいて、具体的に何か実施する予定はあるか。

→（首席・労働安全衛生委員長回答）勤務時間の延長を防ぐために、会議延長がある場合は、管理職に連絡をいれるなど、勤務時間を意識した働きかたを職場に浸透させる。職場全体で、業務の効率化や業務整理への意識をもって働くことを呼びかける。

＜その他＞

- ・コロナ禍だからこそ一人ひとりの生徒の変化に目配りいただきたい。
- ・共生推進教室の生徒の状況や取り組みなどについて教えていただきたい。

→（生徒支援部長回答）本校生徒との交流については、自立活動を一緒に取り組んだり、行事（校外学習、生徒会企画行事）を一緒に楽しんだりしている。授業については、職業に関する教科に取り組んでいる。

- ・コロナ対応で大変だが、1時間でも学校という空間・人とのふれあいの時間は確保してほしい。3年間しかない学校生活で長期の休校は、感染リスク以上に将来におけるマイナスになると感じる。
- ・生徒と教員が気軽に話ができる楽しい雰囲気ができていたら、問題が生じても解決できると思う。

【委員による協議】

＜令和4年度 学校経営計画「めざす学校像」及び「中期的目標」について＞

○可否については、6名の委員全員よりご承認いただいた。

- ・今後の多様性時代への臨機応変な対応が学校現場には求められる。ピンチをチャンスと捉えて、むらの高等支援学校の更なる発展を期待している。
- ・就労前に働く理由、目標を見つけ、一人でも多くの生徒が自分に合った就労先を見つけ、長く働き続けられることを願う。
- ・プライベートを楽しめる余暇活動があれば良い。
- ・企業への支援力向上を目指す研修等も実施すると良い。
- ・めざす学校像「チャンス・チャレンジ・チェンジ」は、様々な人と交流しながら、自分や他人を受け入れ、認め合いながら、目標を見つけて頑張れるような内容なので、来年度も期待している。
- ・地域との交流や体験実習等のご要望があればご相談ください。できる限り協力します。

以上